

GL ボンド

(GL工法用石膏系接着材)

標 準 施 工 要 領 書

吉野石膏GL工事施工同業会

# I はじめに

当施工要領書は、GL工法の施工要領書である。

## II 使用材料

### II-1 材料

#### 1) GLボンド

荷 姿 : クラフト3層+ポリフィルム1層 (内層 20kg袋詰)

(注: 製造日より6ヶ月経過した製品は、お使いにならないでください。)

製造ロット番号 読み方 16 | 02 | 05 | 02

年 月 日

使用量 : 施工計画時または下地躯体レベル測定から平均仕上げ暑さを算出し、下記表によって使用量を求める。

仕上げ厚さ	m <sup>2</sup> あたり使用量
20~25mm	3~4.5kg

貯蔵と保管 : 雨露を避け、湿気の少ない場所に保管する。直接、地面には置かず、ベニヤ、パレットなどを下敷きにする。

2) 水 : 水道水、または同程度のものとする。

#### 3) 下地処理材

コンクリート下地の場合

名 称	ス-パ-タックRまたはス-パ-タックA
荷 姿	18kg/缶
成 分	アクリル系エマルジョン
現場調合法	3倍液 ス-パ-タックRまたはス-パ-タックA 1 : 水 2
使用箇所	施工面に1回塗布 (上記希釈にて約310m <sup>2</sup> /缶)
貯蔵と保管	凍結防止、及び直射日光を避ける

#### 発泡ウレタン下地の場合

名 称	ゲイナル KC-682 (カエ化学工業)
荷 姿	18kg/缶
成 分	アクリル共重合樹脂
現場調合法	原液 ゲイナル100 : 水0~10 (重量比)
使用箇所	施工面に1回塗布 (150g/m <sup>2</sup> ) (上記希釈にて約120m <sup>2</sup> /缶)
貯蔵と保管	凍結防止、及び直射日光を避ける

#### 4) タイガーボード (せっこうボード)

種 類	タイガーボード ジョイントタイガーボード ベベルタイガーボード
厚さ (防火認定)	9.5mm (準不燃) 12.5mm (不燃)
サ イ ズ	910×1820 910×2000 910×2420 910×2730 1000×2000
貯蔵と保管	雨露を避け、湿気の少ない乾燥した平らな場所に敷板などを利用して曲げぐせがつかないように平置きする。

### Ⅲ 施 工

#### Ⅲ-1 作業段取

##### 1) 施工床面の確保

- ① GL工事前日に下地処理が行える様に準備する。
- ② 清掃・レベル出しは、下地処理を行う前までに完了する。

##### 2) レベル出しの要点

- ① 下地処理を行う前までに、仕上がりレベルを天井・床等の四周に墨出し表示する。

## Ⅲ-2 施工手順および要領

### Ⅲ-2-1 下地の養生及び下地清掃等

- 1) 下地の確認
  - イ) 下地躯体の養生日数が  
夏場（4月～10月） 14日以上  
冬場（11月～3月） 21日以上  
経過していることを確認する。
  - ロ) ぜい弱な部分などは、はつり取る。
- 2) 下地の清掃
  - ・ 下地をよく清掃し、ゴミ、砂、油分などを取り除く。
- 3) レベル出し
  - ・ GL工法の仕上レベルを天井、床等に墨出しする。

### Ⅲ-2-2 下地処理

- 1) 防錆処理
  - ・ GLボンドと接する金属部分は、防錆処理（ペイントスプレー等）を行う。

- 2) 下地処理
  - イ) 下地処理剤（スパータックAまたはスパータックR）を施工面積に合わせ準備し、水にて3倍に希釈する。
    - ロ) 希釈液をローラー等で全壁面にむらなく塗布する。
  - ハ) 下地処理剤は、原則としてGL工事前日に塗布し、乾燥させる。

### Ⅲ-2-3 タイガーボードの加工

- 1) タイガーボードの選定
  - ・ タイガーボードのサイズは、あらかじめ張付け壁面に合ったものを選び、横目地の継目がなるべく出来ないようにする。
- 3) タイガーボードの裁断
  - イ) タイガーボードは、壁の高さより短めに裁断する。
  - ロ) タイガーボードのテーパの無い切断面は軽くヤスリがけをする。
  - ハ) スイッチボックスの処理はあらかじめ墨出しして切り抜いておくようにする。尚、ボックスカバーが邪魔にならない場合は張付け後に穴あけをする。

### Ⅲ-2-4 GLボンドの混練

- 1) 混練
  - イ) ミキサーにGLボンドを入れ、所定量の水を投入し、ダマ（ママコ）が無くなるまで混練する。
  - ロ) 小面積の場合はハンドミキサーで混練する。
  - ハ) 練り具合はやや堅めにし、塗付けの時ダレない程度にする。

二) 一度に練る分量は1時間以内に使い切れる量にする。

### Ⅲ-2-5 GLボンドの塗付け

1) 塗付けピッチ ・ 塗付けピッチは、次表による。

GLボンドの塗付けピッチ

張付け位置	塗付けピッチ
腰壁部 (床上1.2m以下の部分)	200~250mm
腰壁上部 (床上1.2mを超える部分)	250~300mm
ボード周辺部	150~200mm

2) 塗付け

イ) コテでコンクリート面に下こすりした後、縦150mm、横100mmのダンゴ状になるように上下、左右にコテ圧をかけて塗付ける。GLボンドの塗付け厚は、仕上げ厚の約2倍にする。

ロ) 1回のダンゴ塗付け範囲は張付けるタイガーボード1枚分とする。

### Ⅲ-2-6 タイガーボードの張付け

1) タイガーボードの圧着

イ) タイガーボードを壁に押付けるようにし、軽く手でたたいて徐々に接着させながら墨線に合わせる。

ロ) タイガーボードの表面を定木でたたきながら、上下左右のレベルを正確に出す。

ハ) GLボンドの塗付けとタイガーボードの張付けは、1枚ずつ繰り返し行い、ジョイント部分のレベル、壁面全体のレベルを確かめながら進める。

ニ) 床面からの水分の吸い上げを防ぐため、タイガーボードは、床面から10mm程度浮かすようにする。

### Ⅲ-2-7 タイガーボードの養生

1) 硬化前の養生 ・ GLボンドが硬化する迄は、張付けたタイガーボードは動かさないようにする。

- 2) 硬化後の乾燥養生
- ・ 施工翌日からは、通風を良くし、乾燥を行う。
- 3) 養生期間の目安
- イ) タイガーボード表面に仕上げを行う場合の乾燥養生期間の目安は次表の通り。

仕上材の種類	養生期間
通気性がある場合	7日以上
通気性がない場合	20日以上

- ロ) ボードの表面は乾燥しているように見えても、GLボンドが未乾燥の場合がある為、乾燥具合は水分計で測定する。

以上